



1 白熱した大凧合戦 2 凧揚げの様子を表現した凧踊り
3 大凧出世太鼓 4 俳画部門(中学生以下の部)で金賞に選ばれた新田さんの作品 5 百量大凧揚げも成功

風薫る五十崎の空を舞台に いかざき大凧合戦

400年の歴史を誇る「いかざき大凧合戦」(同実行委員会主催、久保美博実行委員長)が5月5日、豊秋河原で行われ、およそ42,000人の観客でにぎわいました。

百量大凧揚げは、昨年、強風で大凧があおられたことから今年は方法を変更。五十崎側の河原に滑車を設置し、総勢100人余りが力を合わせてロープを引っ張って天神側から五十崎側に向かって大凧を揚げました。また一番の見所である大凧合戦では、凧糸に付けたガガリと呼ばれる刃物で互いの凧を落とすたびに、観客から大きな歓声が上がっていました。

その他にも少年剣道大会、五十崎中学校男子生徒が作った創作凧の審査、初節句行事、出世凧揚げなど、さまざまな催しを開催。凧に描く俳句や絵、俳画を募集した「第5回五十崎の空に凧が舞う」(内子町観光協会、子ども俳句凧の会主催)の表彰式も行われ、受賞者は自分の作品が描かれた凧を揚げて楽しんでいました。

■「第5回五十崎の空に凧が舞う」上位入賞者(敬称略)

部門	中学生以下の部	一般の部
俳句	金賞 八塚 陽向(松山市)	都築まとむ(八幡浜市)
	銀賞 八塚 大輝(松山市)	井上 さち(八幡浜市)
	仙波 京夏(吉野川)	
絵	金賞 池田 莉乃(駄馬)	福岡 美穂(内子21)
	銀賞 永居 歩起(森)	徳永八重子(松山市)
	上山結衣花(森)	
俳画	金賞 新田 悠貴(上立山)	井上 さち(八幡浜市)
	銀賞 池田 玲美(駄馬)	奥本美代子(内子18第1)
	岩野いずみ(八代)	



新緑がまぶしい溪流沿いの遊歩道をのんびりと散策

春の小田深山で自然を満喫 2011春の小田深山せんの森の日

小田深山で5月15日、「2011春の小田深山せんの森の日」(内子町、同実行委員会主催)が開かれ、町内外から約200人が参加しました。

午前中はクイズや体験コーナーを楽しみながら溪流沿いの遊歩道を散策。昼食では、地元で採れた山菜の天ぷらを味わい、午後からはヨガ体験やこけ玉作り、ガイドとの自然散策などを行いました。高本師津雄実行委員長は「このイベントをきっかけに小田深山の美しさを多くの人に体感してほしい」と話していました。

都市×農村交流で地域を元気に うちこ自然浴ツアー

棚田百選にも選ばれた「泉谷の棚田」など御祓地区の自然や文化を広くアピールしようと4月24日、「うちこ自然浴ツアー」(同実行委員会主催、上岡満榮会長)が行われました。県内外から60人が参加し、龍馬脱藩の道などの名所を散策した後、地元の皆さんが準備したおにぎりや杵つき餅などをおなかいっぱい味わっていました。

この日のために地元有志が練習した豊年踊りも、大好評



小田川の流れに乗って 川まつり・筏流し

川登自治会(稲積仁志会長)は4月24日、「第21回川まつり・筏流し」を行いました。当日はやや肌寒い天気だったものの、大勢の観客やカメラマンが来場。昭和20年代まで行われていた筏流しの再現や筏の乗船体験、バザーなどを楽しみました。稲積会長は「地域で後継者を育て、筏流しを継承していきたい」と話していました。

巧みに筏を操り、流れの速い場所も難なく通過



新鮮な気持ちで「昔」を体験 郷土料理と昔の遊び体験

料理や遊びを通して昔ながらの生活技術や文化を子どもたちに伝えようと、大瀬自治センターと大瀬地区民生児童委員会は5月6日、「だんご汁作りと昔の遊び」体験を行いました。参加した大瀬小学校の1・2年生18人は、「料理を作ったりして楽しかった」「こま回しができてうれしかった」と、初めての体験を喜んでいました。

竹馬やこま回し、あやとりなど、さまざまな昔の遊びに挑戦



文化を生かして内子に元気を 内子座でまちづくりフォーラム

内子町と松山大学の連携事業の一つとして5月8日、「まちづくりフォーラム」が開かれました。西村幸夫東京大学先端科学技術研究センター教授が「まちの魅力は文化にある。それをいかに物語に仕上げるか。内子ならではの見せ方を考えて」と講演。その後、鈴木茂松山大学教授を交えパネルディスカッションも行われました。

内子本町商店街の代表者らがこれからの商店街について議論

